

### 朝採り十ぶらす

#### ■日産「ノート」に新技術

日産自動車は24日、新しいハイブリッド技術を採用し11月に発売する小型車「ノート」の改良モデルの生産開始に伴い、神奈川県横須賀市の追浜工場で記念式典を開いた。写真＝11月2日の正式発表に先立ち、改良モデルを報道陣に公開した。



カルロス・ゴーン社長がノートの改良モデルに乗って登場し、約千人の従業員らを激励した。ゴーン氏は式典で「(改良モデルに)軽快な走りや燃費効率を実現する革新的な新技術を搭載する」と述べた。

またゴーン氏は式典後、報道陣に対し「(新技術は)近代的なハイブリッドだ」と説明し、ノートの改良モデルは同類の車種の中で「一番燃費が良い」と強調した。環境技術では、電気自動車(EV)やクリーンディーゼルなどさまざまな手法で他社と競争していくとして、日産の傘下に入った三菱自動車が開発を進めるプラグインハイブリッド車(PHV)の技術を採用する考えを改めて示した。

#### ■張りつつや与える美容液

コーセーは、肌に張りやつやを与える美容液「コスメデコルテ iP.Shot(アイピーショット)」＝写真＝を発売した。最先端の細胞研究で開発した美容成分を配合。肌に密着するように伸びて広がる。乾燥による小じわを目立たなくし、明るい印象の肌に導くようにした。20g入り。希望小売価格は1万800円。問い合わせは通話無料のお客様相談室、0120・763325へ。



#### ■青森産リンゴの耐ハイ

合同酒類は、国産素材にこだわった耐ハイ「NIPPON PREMIUM 青森県産ふじりんごのチューハイ」＝写真＝の缶デザインを一新し、発売した。青森県産品のPRキャラクター「決め手くん」をデザインに採用。青森産リンゴを丸ごと搾り、果実本来の味わいを引き出した。350ml缶の参考小売価格は154円。問い合わせはオエノングループお客様センター、03・3575・2787へ。

#### ■ナシ味の天然水

コカ・コーラシステムは、鳥取県産ナシのエキスを加えた天然水「い・ろ・は・すなし」＝写真＝を11月28日に発売する。果糖、酸味料、香料なども配合しており、口に含むとナシの味わいと香りが



## 今月末退任 高向巖札商会頭に聞く

# 新幹線誘致 腐心の末結実

札幌商工会議所の高向巖(さん)が、12年間の任期を終えて今月いっぱい退任する。11月に引退予定の北海道商工会議所連合会長と合わせ、後任に内定している岩田圭剛・岩田地崎建設社長にバトンタッチする運びだ。北海道新幹線の誘致に腐心した高向の思い出や、今後の道内経済の課題を聞いた。(聞き手・宇野一征)



在任中の思い出や道内経済の課題について語る高向巖氏

「12年間に振り返り、どのような心境ですか。」  
「いろいろな事業の音頭を取りましたが、会員企業も会議所の職員もみんな面白がってやってくれた。だからかな、つらさや苦勞は不思議となかったですね。」

「当初は誘致への慎重論が根強く、道民の意見は二分されていました。調べると、新幹線に乗ったことがない道民が多かった。そこで、小学生を対象に東北新幹線の体験乗車を企画するなど新幹線の利便性のPRに力を入れ、誘致に向けた署名活動を行いました。東北の自治体や商工会議所が誘致運動への協力要請に快く応じてくれたこと

も、開業の弾みになったと思います。より高い経済効果を得るためにも、一日も早い札幌延伸を願っています。」  
「北海道経済の現状をどう見ていますか。」  
「新製開発に取り組み熱心な起業家たちの登場などもあり、道内の産業の課題である『利益率の低さ』は少しずつ改善されてきたと思います。」

「最近ではJR北海道の経営問題について、各地域から心配する声が出ています。」  
「JR北海道の経営は、ホテルなど手持ちの資産を切り売りしていることから分かるように、非常に厳しい状況です。深刻な赤字路線については、バス転換も考えなければならぬでしょう。どうしても残さなければならぬ路線は、国への支援の要請も検討しなければなりません。会議所としても、側面支援していかなければならない問題だと思っています。」

「環境太平洋連携協定(TPP)承認案の国会審議も本格化しています。」  
「農業は北海道の基幹産業の一つです。農業地域が衰退すれば、周辺の商業地域もだめになり、美しい農村風景を売り出した観光も成り立たなくなります。国などはこうした影響も十分に考慮して、農業政策に取り組んでいただきたい。」

「24日にアイックスがやすけフーズの全株式を譲り受ける契約を結んだ。買収額は非公表。やすけフーズは函館と北斗、旭川で回転ずし店を12店経営している。」

「イタリヤ料理店なども持つており、年商は約16億円。回転ずし業界は道外大手の進出もあって競争が激しいが、『自社の店舗開発・運営手法を投入すればテコ入れできる』(アイックス)と判断した。従業員約400人の雇用は引き継ぐ。アイックスはやすけフーズが築いた鮮魚の仕入れルートを生かし、コストを削

減しながら居酒屋で出すメニューを充実させる。回転ずし店だった建物などアイックスがこれまで出店の対象としてこなかった物件も、今後は積極的に手に入れ、傘下の飲食店を増やす方針だ。」

また、やすけフーズが食材を前処理するため函館に構えている施設「セントラルキッチン」を拠点に新事業も手がける考えだ。具体的には、コンビニやスーパーにすしや刺身卸売りする事業を早ければ1年以内で始める。アイックスは道内でガソリンスタンド31店を運営し、近年は飲食業にも力を入れる。現在約50億円ある飲食部門の売上高を20年3月期に約160億円に引き上げる計画。飲食部門を担う子会社アイックスフーズ(札幌)の社長で、やすけフーズ社長を兼務する伊藤一也社長は「今回の投資で外食ブランドの幅を広げ、発展を加速させたい」と話す。

準備会社を来月設立  
ローソンは24日、銀行業に参入するための準備会社を11月下旬に設立すると正式に発表した。資本金は5億円、ローソンが95%、三菱東京UFJ銀行が5%を出資する。流通業界ではセブン&アイ・ホールディングス、イオンに次いで3社目の参入となる見込みだ。準備会社の商号は「ローソンバンク設立準備株式会社」とするが、新銀行の名称は未定。金融庁の許可を得て、2018年中の開業を目指す。ローソンは口座の資金決済機能などのサービスを通じて、生活に役立つ金融サービスを展開する」と説明している。

## アイックス「すしまる」買収

## 刺し身卸売りに進出



アイックスが買収したやすけフーズが展開する回転ずし店「すしまる」＝函館市

アイックスがやすけフーズの全株式を譲り受ける契約を結んだ。買収額は非公表。やすけフーズは函館と北斗、旭川で回転ずし店を12店経営している。

また、やすけフーズが食材を前処理するため函館に構えている施設「セントラルキッチン」を拠点に新事業も手がける考えだ。具体的には、コンビニやスーパーにすしや刺身卸売りする事業を早ければ1年以内で始める。

準備会社を来月設立  
ローソンは24日、銀行業に参入するための準備会社を11月下旬に設立すると正式に発表した。資本金は5億円、ローソンが95%、三菱東京UFJ銀行が5%を出資する。流通業界ではセブン&アイ・ホールディングス、イオンに次いで3社目の参入となる見込みだ。

準備会社の商号は「ローソンバンク設立準備株式会社」とするが、新銀行の名称は未定。金融庁の許可を得て、2018年中の開業を目指す。ローソンは口座の資金決済機能などのサービスを通じて、生活に役立つ金融サービスを展開する」と説明している。

## 次世代の技術 札幌に集う

### 来月10、11日「ビジネスEXPO」

製造業やITなどの製品やサービス、道内最大級の展示会「第10回 技術・ビジネス交流会(ビジンO)」が11月10、11の両日、札幌のアクセスサッポロで開かれ、代エネルギーの水素などに関する講演も行われる。

**ファイブ目撃せ!**  
修正すると発表  
先の倒産が少な  
当金が想定を  
め。

**ほくほくFG**  
純利益39%増  
9月中旬上方修正  
北海道銀行と北陸銀行の  
持ち株会社、ほくほくフ  
ィナンシャルグループ(FG、  
富山市)は24日、2016  
年9月中旬連結決算の業績  
予想について、純利益を5  
月の前回予想と比べて39  
・2%増の167億円に上方  
修正すると発表  
先の倒産が少な  
当金が想定を  
め。

預金やローンにも対応する  
セブナイレバン・ジャパ  
ンのATMに比べてサービ  
スが見劣りしていた。  
準備会社の代表取締役会  
長に、財務省出身で元大和  
証券グループ本社顧問の岩  
下正氏が就任する。社長は  
人選を進めている。

**全国スーパー**  
売上高3.2%減  
9月  
日本チェーンストア協会  
が24日発表した9月の全国  
スーパー売上高は、既存店  
ベースで前年同  
%減となり、2  
前年を下回った  
気温が高かったた  
風などの天候  
し、衣料や住宅  
商品が苦戦した  
部門別では、  
・3%減だった  
やダイコン、キ  
った鍋物の食材  
た。台風で野菜  
って値上がりし  
費者の買い控え  
た。  
衣料品はジャ